

令和 6年度 行政評価事業別シート

	実計対象	<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	山本雅代
	全体計画						経費区分		-		内線	3612
事務事業名	4250 教育委員会運営費											
所 属	300100 教育委員会事務局・学校教育課											
施 策	03021000 特色ある教育の推進											
予算科目	会計	01 一般会計										
	科目	100101 教育費・教育総務費・教育委員会費										
	事業	010000 教育委員会運営費										
事業目的						事業概要・効果						
教育行政に民意を反映させ、子どもたちや市民に豊かな教育を施すため、教育委員会の円滑な運営を図る。						月1回の定例教育委員会及び臨時教育委員会を開催し、教育委員会の円滑な運営を図り、教育行政の進展に寄与する。						

PLAN-DO

年度実績及び予定

令和 2年度 実績	令和 3年度 実績
月1回の定例教育委員会開催 臨時教育委員会開催	月1回の定例教育委員会開催 臨時教育委員会開催
令和 4年度 実績	令和 5年度 実績
月1回の定例教育委員会開催 臨時教育委員会開催	月1回の定例教育委員会開催 臨時教育委員会開催
令和 6年度 予定	令和 7年度 予定
月1回の定例教育委員会開催 臨時教育委員会開催	月1回の定例教育委員会開催 臨時教育委員会開催

指標名	無し					
算式						単位
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		令和5年度 決 算	令和6年度 予 算
事業費		3,581	3,912
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	0	0
一般財源		3,581	3,912
人員数(人)	正規職員	0.5	0.2
	会計年度(フル)	0.0	0.3
	会計年度(パート)	0.1	0.1
人員コスト	正規職員	3,518.5	1,407.4
	会計年度(フル)	0.0	1,074.3
	会計年度(パート)	176.9	176.9
	計	3,695.4	2,658.6
市民一人当たりの経費		0.1	0.1
総額		7,276.4	6,570.6

(単位：千円)

令和5年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	66	全国規模の小・中・高等学校競技会・発表会出場激励金66
10節 需用費	8	消耗品費8
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	152	県都市教育委員会連絡協議会負担金 ほか152
その他	3,355	教育委員報酬3,264ほか91

(単位：千円)

令和 6年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	190	小・中・高等学校競技会・発表会出場選手激励金190
10節 需用費	8	消耗品8
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	152	県都市教育委員会連絡協議会負担金 ほか152
その他	3,562	委員等報酬3,264ほか298

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	必要不可欠
評価コメント	地方教育行政の根幹をなす事業であり必要	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	大変有効
評価コメント	制度を維持するために必要な事業	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	概ね効率的に運用している	

振り返り（決算年度の取組み課題）

教育委員会、総合教育会議を円滑に開催し、教育行政の進展を図った。

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
<p>地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき、教育委員会を円滑に運営して、教育行政の進展を図る。</p>		<p>規程に基づき、教育委員会の円滑な運営を行い、教育行政の進展を図った。また、教育委員会の会議において、より活発な議論が行われるよう、委員等からの意見等の発表の場を設ける取り組みを行った。</p>	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	

令和 6年度 行政評価事業別シート

	<input type="checkbox"/>	実計対象	<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	安川尚義
		全体計画						経費区分		-		内線	3618
事務事業名	4253 教育奨励事業												
所 属	300100 教育委員会事務局・学校教育課												
施 策	03021000 特色ある教育の推進												
予算 科目	会計	01 一般会計											
	科目	100103 教育費・教育総務費・教育奨励費											
	事業	010000 教育奨励事業											
事業目的							事業概要・効果						
地域に開かれた特色ある教育・学校づくりや、学校・家庭・地域が、それぞれ果たす役割を自覚し、ともに連携し、子どもたちの「生きる力」を育み、将来を見据えて、育て合い・生き合う教育を推進する。							各小・中・支援学校における特色ある教育・学校づくり推進事業及び学校運営委員会制度により、地域に開かれた学校づくり、心豊かでたくましく、国際的視野もち、主体性ある人材育成が一層進むとともに、総合学習への積極的な取り組みを行う。						

PLAN-DO

年度実績及び予定

令和 2年度 実績	令和 3年度 実績
各小・中・支援学校における特色ある教育・学校づくり推進事業及び学校運営委員会制度により、地域に開かれた学校づくり、心豊かでたくましく、国際的視野をもち、主体性ある人材育成が一層進むとともに、総合学習への積極的な取り組みを行う。	各小・中・支援学校における特色ある教育・学校づくり推進事業及び学校運営委員会制度により、地域に開かれた学校づくり、心豊かでたくましく、国際的視野をもち、主体性ある人材育成が一層進むとともに、総合学習への積極的な取り組みを行う。
令和 4年度 実績	令和 5年度 実績
各小・中・支援学校における特色ある教育・学校づくり推進事業及び学校運営委員会制度により、地域に開かれた学校づくり、心豊かでたくましく、国際的視野をもち、主体性ある人材育成が一層進むとともに、総合学習への積極的な取り組みを行う。	各小・中・支援学校における特色ある教育・学校づくり推進事業及び学校運営委員会制度により、地域に開かれた学校づくり、心豊かでたくましく、国際的視野をもち、主体性ある人材育成が一層進むとともに、総合学習への積極的な取り組みを行う。
令和 6年度 予定	令和 7年度 予定
各小・中・支援学校における特色ある教育・学校づくり推進事業及び学校運営委員会制度により、地域に開かれた学校づくり、心豊かでたくましく、国際的視野をもち、主体性ある人材育成が一層進むとともに、総合学習への積極的な取り組みを行う。	各小・中・支援学校における特色ある教育・学校づくり推進事業及び学校運営委員会制度により、地域に開かれた学校づくり、心豊かでたくましく、国際的視野をもち、主体性ある人材育成が一層進むとともに、総合学習への積極的な取り組みを行う。

指標名	なし						
算式						単位	%
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名							
算式						単位	
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名							
算式						単位	
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							

事業費

(単位：千円)

		令和5年度 決 算	令和6年度 予 算
事業費		16,136	26,948
特定財源	国庫支出金	0	696
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	12,482	16,858
一般財源	3,654	9,394	
人員数(人)	正規職員	0.7	0.6
	会計年度(フル)	0.3	0.9
	会計年度(パート)	0.0	0.3
人員コスト	正規職員	4,925.9	4,222.2
	会計年度(フル)	1,074.3	3,222.9
	会計年度(パート)	0.0	530.7
	計	6,000.2	7,975.8
市民一人当たりの経費	0.4	0.7	
総額	22,136.2	34,923.8	

(単位：千円)

令和5年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	304	自然体験学習看護師及び登山インストラクター謝礼ほか304
10節 需用費	2	食糧費2
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	11,007	特色ある教育・学校づくり推進事業負担金6,080、自然体験学習宿泊費負担金2,586 ほか2,341
その他	4,823	社会見学等自動車借上料1,152、自然体験学習バス借上料2,357、卒業学年親善音楽会988 ほか326

(単位：千円)

令和 6年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	336	自然体験学習看護師及び登山インストラクター謝礼336
10節 需用費	15	消耗品5 食糧費10
12節 委託費	2,998	水泳授業インストラクター委託料2,998
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	12,973	特色ある教育・学校づくり推進事業負担金6,080、自然体験学習宿泊費負担金2,365、花育事業負担金1,392、スキー教室負担金1,276 ほか1,860
その他	10,626	社会見学等自動車借上料2,236、自然体験学習バス借上料3,842、音楽鑑賞教室バス借り上げ料2,604 ほか1,944

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	高い
評価コメント	各学校が工夫を凝らして特色ある学校づくりをするためには事業費が必要	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	有効
評価コメント	学校の裁量で使える事業費があることで学校の特性に合わせた事業が可能になり、より高い効果が期待できる	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	向上
評価コメント	全学校が共通して行う事業については市が予算を確保して直接発注することにより、効率的に、経費を抑えながら実施できる	

振り返り（決算年度の取組み課題）

小学校及び須坂支援学校においてスキー教室負担金を交付し、保護者負担の軽減を図りながらスキー教室が実施できた。

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	簡易な改善（拡大）	次年度以降の方向性	簡易な改善（拡大）
総合評価コメント		2次評価コメント	
水泳学習について、質を向上しながらプール施設の効率的な運用が図れるように試行を行うなど、特色ある教育・学校づくりを学校・家庭・地域が連携して推進する。		各学校が工夫しながら、特色ある教育、学校づくりを家庭、地域とともに連携して推進している。	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	

令和 6年度 行政評価事業別シート

	<input type="checkbox"/>	実計対象	<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	小泉 敦
		全体計画						経費区分		-		内線	3613
事務事業名	4255 教育支援事業												
所 属	300100 教育委員会事務局・学校教育課												
施 策	03021000 特色ある教育の推進												
予算 科目	会計	01 一般会計											
	科目	100103 教育費・教育総務費・教育奨励費											
	事業	020000 教育支援事業											
事業目的							事業概要・効果						
須坂市教育支援委員会条例に基づき、心身に障がいのある児童及び生徒の適切な就学を図る。							教育支援委員会の体制整備 ①教育支援委員会の開催 ②校内教育支援委員会の開催 ③特別支援教育コーディネーター等連絡会全体会の開催						

PLAN-DO

年度実績及び予定

令和 2年度 実績	令和 3年度 実績
市内小・中学校及び教育相談専門委員会より提出された資料を基に、当該児童・生徒の就学に関し協議し、判断を行い、保護者への十分な説明に努め、当該児童・生徒にふさわしい学級・学校への進路を決定することができた。	市内小・中学校及び教育相談専門委員会より提出された資料を基に、当該児童・生徒の就学に関し協議し、判断を行い、保護者への十分な説明に努め、当該児童・生徒にふさわしい学級・学校への進路を決定することができた。
令和 4年度 実績	令和 5年度 実績
市内小・中学校及び教育相談専門委員会より提出された資料を基に、当該児童・生徒の就学に関し協議し、判断を行い、保護者への十分な説明に努め、当該児童・生徒にふさわしい学級・学校への進路を決定することができた。	市内小・中学校及び教育相談専門委員会より提出された資料を基に、当該児童・生徒の就学に関し協議し、判断を行い、保護者への十分な説明に努め、当該児童・生徒にふさわしい学級・学校への進路を決定することができた。
令和 6年度 予定	令和 7年度 予定
様々な特性を持つ児童生徒の適切な就学を図るため、教育支援委員会で一人ひとり慎重に判断を行う。	様々な特性を持つ児童生徒の適切な就学を図るため、教育支援委員会で一人ひとり慎重に判断を行う。

指標名	無し					
算式						単位
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		令和5年度 決 算	令和6年度 予 算
事業費		707	868
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	0	0
一般財源		707	868
人員数(人)	正規職員	0.1	0.1
	会計年度(フル)	0.1	0.1
	会計年度(パート)	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	703.7	703.7
	会計年度(フル)	358.1	358.1
	会計年度(パート)	0.0	0.0
	計	1,061.8	1,061.8
市民一人当たりの経費		0.0	0.0
総額		1,768.8	1,929.8

(単位：千円)

令和5年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	16	特別支援学校訪問土産16
10節 需用費	177	消耗品費(検査用紙代)163、食料費14
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	514	教育支援委員会委員報酬497、費用弁償17

(単位：千円)

令和 6年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	46	研修会講師謝礼30、特別支援学校訪問土産16
10節 需用費	177	消耗品費（検査用紙代）162、食料費15
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	645	教育支援委員会委員謝礼624、費用弁償21

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	必要不可欠
評価コメント	心身に障がいのある児童生徒の適切な就学が図られている	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	有効
評価コメント	教育支援委員会にて十分協議したうえ、保護者へ丁寧な説明に努め、児童生徒にふさわしい学級・学校への進路を決定した	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	児童生徒の将来に関わる判断をするため、慎重に事務を進めた。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

関係者間の連携を取りながら支援を必要とする児童生徒の適切な就学を図る

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	進め方の改善（拡大）	次年度以降の方向性	進め方の改善（拡大）
総合評価コメント		2次評価コメント	
教育支援委員会に提出する個人シートの内容について、学校間で差が出ないように、各校の担当者を対象とした資料作成研修会を開催する。		教育支援委員会に諮る児童生徒数の増加に伴い業務量が大幅に増加しているが、個々きめ細やかな対応を行い適切な就学に繋げた。	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	

令和 6年度 行政評価事業別シート

	<input type="checkbox"/> 実計対象	<input type="checkbox"/> 評価対象	<input checked="" type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 完了事業	<input type="checkbox"/> ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/> 担当者	小泉 敦
	全体計画			経費区分	-	内線	3613
事務事業名	4256 不登校児童生徒支援事業						
所 属	300100 教育委員会事務局・学校教育課						
施 策	03021000 特色ある教育の推進						
予算 科目	会計	01 一般会計					
	科目	100103 教育費・教育総務費・教育奨励費					
	事業	030000 不登校児童生徒支援事業					
事業目的				事業概要・効果			
不登校や学級不適應などの児童生徒に対応するため、不登校児童生徒支援員等を配置する。また指導主事等が学校と連携し、問題解決に努める。				不登校や学校を休みがちな児童生徒、学級に入れない児童生徒に対し、相談を受けたり、学習室や相談室などにおける支援を行い、不登校や学級不適應の原因の究明、児童生徒の安心できる居場所づくりを行う等、学校内・家庭と連携しながら、学校への登校、学級への復帰を図る。			

PLAN-DO

年度実績及び予定

令和 2年度 実績	令和 3年度 実績
不登校や学校を休みがちな児童生徒、学級に入れない児童生徒に対し、学習室や相談室などにおける支援や家庭への支援を行い、原因の究明、安心できる居場所づくりを行うことで、多くの児童・生徒の心の安定が図られた。	不登校や学校を休みがちな児童生徒、学級に入れない児童生徒に対し、学習室や相談室などにおける支援や家庭への支援を行い、原因の究明、安心できる居場所づくりを行うことで、多くの児童・生徒の心の安定が図られた。
令和 4年度 実績	令和 5年度 実績
不登校や学校を休みがちな児童生徒、学級に入れない児童生徒に対し、学習室や相談室などにおける支援や家庭への支援を行い、原因の究明、安心できる居場所づくりを行うことで、多くの児童・生徒の心の安定が図られた。	不登校や学校を休みがちな児童生徒、学級に入れない児童生徒に対し、学習室や相談室などにおける支援や家庭への支援を行い、原因の究明、安心できる居場所づくりを行うことで、多くの児童・生徒の心の安定が図られた。
令和 6年度 予定	令和 7年度 予定
不登校や、学級不適應などの児童生徒に対応するため、不登校児童生徒支援員等を配置する。また指導主事等が学校と連携し、問題解決に努める。教育支援センターの環境も改善する。	不登校や、学級不適應などの児童生徒に対応するため、不登校児童生徒支援員等を配置する。また指導主事等が学校と連携し、問題解決に努める。

指標名						単位	%
算式							
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名						単位	%
算式							
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名						単位	%
算式							
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							

事業費

(単位：千円)

		令和5年度 決 算	令和6年度 予 算
事業費		24,215	31,984
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	13,000	13,000
一般財源		11,215	18,984
人員数(人)	正規職員	0.1	0.1
	会計年度(フル)	0.5	0.5
	会計年度(パート)	0.1	0.1
人員コスト	正規職員	703.7	703.7
	会計年度(フル)	1,790.5	1,790.5
	会計年度(パート)	176.9	176.9
	計	2,671.1	2,671.1
市民一人当たりの経費		0.5	0.7
総額		26,886.1	34,655.1

(単位：千円)

令和5年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	534	中間教室支援員謝礼534
10節 需用費	95	中間教室消耗品95
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	23,586	報酬524、給料13,269、職員手当等2,912、共済費3,384、旅費31、通信運搬費36、手数料3,430

(単位：千円)

令和 6年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	500	中間教室支援員謝礼500
10節 需用費	295	中間教室消耗品95 燃料費200
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	31,189	給料14,806、職員手当等6,388、共済費4,189、旅費76、通信運搬費40、手数料3,800、備品購入費1,890

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	高い
評価コメント	不登校の児童生徒を支援するほか、不登校とならないよう支援する不登校支援員を配置	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	大変有効
評価コメント	教育支援センターに通所している児童生徒が元の教室に戻れたり、やりたいことを見つけられたりしている	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	支援員等の存在が必要	

振り返り（決算年度の取組み課題）

多様な居場所づくりと併せて学びに対する支援や評価の仕組みを構築し、個々に沿った支援をする

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	抜本的見直し（拡大）	次年度以降の方向性	抜本的見直し（拡大）
総合評価コメント		2次評価コメント	
<p>不登校児童生徒の人数が増えていることから、支援体制や居場所となる教育支援センターの環境の充実が必要と考えている。教育支援センターについては教室を増やし、学習支援の講師を増員する。</p>		<p>学校、家庭、関係機関が連携した支援体制の充実、また、多様な学び場、居場所の環境整備を行う必要がある。</p>	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	

令和 6年度 行政評価事業別シート

	<input type="checkbox"/> 実計対象	<input type="checkbox"/> 評価対象	<input checked="" type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 完了事業	<input type="checkbox"/> ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/> 担当者	小泉 敦
	全体計画			経費区分	-	内線	3613
事務事業名	4257 教育活動支援事業						
所 属	300100 教育委員会事務局・学校教育課						
施 策	03021000 特色ある教育の推進						
予算 科目	会計	01 一般会計					
	科目	100103 教育費・教育総務費・教育奨励費					
	事業	040000 教育活動支援事業					
事業目的				事業概要・効果			
<p>小・中・支援学校において、きめ細かい行き届いた教育を行うため、教員補助員及び外国籍児童生徒支援員を配置し、指導主事は学校への指導や、保護者からの相談への対応等を行う。医療的ケア児を支援するため「医療的ケア運営協議会」を設置する。</p>				<p>教員補助員は、担任と連携しながら支援を必要とする児童生徒や学級全体への支援に当たり、個々に寄り添ったきめ細かい支援を行う。</p> <p>外国籍児童生徒支援員は、日本語の読み書きが十分でない児童生徒に対し、専門的な指導と支援を行い、授業の補助や保護者との意思疎通を図る。指導主事は学校への巡回や学校への指導、助言、また保護者からの相談等に応じ、円滑な学校・学級運営を図る。</p> <p>小学校等における医療的ケア児に関する総括的な管理体制を構築するため「医療的ケア運営協議会」を開催する。</p>			

PLAN-DO

年度実績及び予定

令和 2年度 実績	令和 3年度 実績
<p>教員補助員を配置し、支援を必要とする児童生徒の支援を行い、担任を補助した。また外国籍の児童生徒に対し、日本語指導を行い、教育活動の充実が図られた。指導主事により、適切な学校へのな指導、助言や保護者からの相談への対応等が図られた。</p>	<p>教員補助員を配置し、支援を必要とする児童生徒の支援を行い、担任を補助した。また外国籍の児童生徒に対し、日本語指導を行い、教育活動の充実が図られた。指導主事により、適切な学校へのな指導、助言や保護者からの相談への対応等が図られた。</p>
令和 4年度 実績	令和 5年度 実績
<p>教員補助員を配置し、支援を必要とする児童生徒の支援を行い、担任を補助した。また外国籍の児童生徒に対し、日本語指導を行い、教育活動の充実が図られた。指導主事により、学校への適切な指導、助言や保護者からの相談への対応等が図られた。</p>	<p>教員補助員を配置し、支援を必要とする児童生徒の支援を行い、担任を補助した。また外国籍の児童生徒に対し、日本語指導を行い、教育活動の充実が図られた。指導主事により、学校への適切な指導、助言や保護者からの相談への対応等が図られた。</p>
令和 6年度 予定	令和 7年度 予定
<p>教員補助員及び外国籍児童生徒支援員を配置し、小・中・支援学校において、きめ細かい教育を行う。また指導主事により、学校への適切な指導等や、保護者からの相談への対応等を行う。「医療的ケア運営協議会」においてガイドラインの策定等を行う。</p>	<p>教員補助員及び外国籍児童生徒支援員を配置し、小・中・支援学校において、きめ細かい教育を行う。また指導主事により、学校への適切な指導等や、保護者からの相談への対応等を行う。「医療的ケア運営協議会」においてガイドラインの策定等を行う。</p>

指標名	無し					
算式						単位
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		令和5年度 決 算	令和6年度 予 算
事業費		126,070	142,895
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	230	230
	地方債	0	0
	その他	70,831	71,650
一般財源		55,009	71,015
人員数(人)	正規職員	0.2	0.2
	会計年度(フル)	2.0	2.5
	会計年度(パート)	0.1	0.1
人員コスト	正規職員	1,407.4	1,407.4
	会計年度(フル)	7,162.0	8,952.5
	会計年度(パート)	176.9	176.9
	計	8,746.3	10,536.8
市民一人当たりの経費		2.6	2.9
総額		134,816.3	153,431.8

(単位：千円)

令和5年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	3,554	外国籍児童生徒支援員謝礼3,554
10節 需用費	0	
12節 委託費	308	子どもの生活・学習支援事業委託308
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	122,208	教員補助員報酬75,257、給料9,583、職員手当等16,936、共済費18,681、旅費1,670、通信運搬費81

(単位：千円)

令和 6年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	4,832	外国籍児童生徒支援員謝礼4,734、委員等謝礼98
10節 需用費	0	
12節 委託費	308	子どもの生活・学習支援事業委託308
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	137,755	教員補助員報酬78,301、給料10,006、職員手当等26,554、共済費20,869、旅費1,914、通信運搬費111

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか ・行政内部の管理運営上必要な事業であるか ・市が主体となり実施すべき事業か ・法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか ・目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	高い
評価コメント	教員補助員、外国籍児童生徒支援員を配置し、きめ細かい行き届いた教育を行った	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の成果は上がっているか ・目標に対する達成度は十分か ・市民生活上の課題解決に貢献しているか ・行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか ・事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	有効
評価コメント	きめ細かい支援について学校現場からも評価されている。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか ・効率性向上に努めているか ・使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	外国籍児童生徒を含めて支援が必要な児童生徒が増えている	

振り返り（決算年度の取組み課題）

児童生徒の個々の事情に寄り添ったきめ細かい支援を実施し、円滑な学校生活をサポートする

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	簡易な改善（拡大）	次年度以降の方向性	簡易な改善（拡大）
総合評価コメント		2次評価コメント	
児童生徒本人の困り感に寄り添えるように、きめ細かい支援を実施し、円滑な学校生活をサポートする。		支援を必要とする児童生徒の学び、学校生活を支援することは、教員の働きやすい環境づくりにも繋がっている。 支援を必要とする児童生徒は増加しており業務の拡大が見込まれる。	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	

令和 6年度 行政評価事業別シート

	<input type="checkbox"/>	実計対象	<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	山本 雅代
		全体計画						経費区分		-		内線	3612
事務事業名	4258 奨学金事業												
所 属	300100 教育委員会事務局・学校教育課												
施 策	03021000 特色ある教育の推進												
予算 科目	会計	01 一般会計											
	科目	100103 教育費・教育総務費・教育奨励費											
	事業	050000 奨学金事業											
事業目的						事業概要・効果							
奨学金制度は、経済的理由のために修学が困難な学生に経済的支援を行い、教育の機会均等を図ると共に、社会性に優れた人間を育成することを目的とする。						貸付金額 高校生 公立・月額 10,000円以内 私立・月額 21,000円以内 高専生 月額 17,000円以内 大学生 国公立 自宅通学 月額 26,000円以内 自宅外通学 月額 33,000円以内 私立 自宅通学 月額 36,000円以内 自宅外通学 月額 50,000円以内							

PLAN-DO

年度実績及び予定

令和 2年度 実績	令和 3年度 実績
高等学校及び高等専門学校並びに大学に在学又は進学する者で、経済的理由によって修学が困難なものに対して奨学金を貸与する。	高等学校及び高等専門学校並びに大学に在学又は進学する者で、経済的理由によって修学が困難なものに対して奨学金を貸与する。
令和 4年度 実績	令和 5年度 実績
高等学校及び高等専門学校並びに大学に在学又は進学する者で、経済的理由によって修学が困難なものに対して奨学金を貸与する。	高等学校及び高等専門学校並びに大学に在学又は進学する者で、経済的理由によって修学が困難なものに対して奨学金を貸与する。
令和 6年度 予定	令和 7年度 予定
高等学校及び高等専門学校並びに大学に在学又は進学する者で、経済的理由によって修学が困難なものに対して奨学金を貸与する。	

指標名	無し					
算式						単位
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		令和5年度 決 算	令和6年度 予 算
事業費		4,358	5,115
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	4,356	5,112
一般財源		2	3
人員数(人)	正規職員	0.2	0.0
	会計年度(フル)	0.0	0.2
	会計年度(パート)	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	1,407.4	0.0
	会計年度(フル)	0.0	716.2
	会計年度(パート)	0.0	0.0
	計	1,407.4	716.2
市民一人当たりの経費		0.1	0.1
総額		5,765.4	5,831.2

(単位：千円)

令和5年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	0	
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	4,358	奨学金貸付金1,032 他

(単位：千円)

令和 6年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	0	
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	5,115	奨学金貸付金2,472 他

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	高い
評価コメント	修学が困難な学生に、経済的援助を行い、教育の機会均等を図るために必要	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	有効
評価コメント	社会性に優れた人間を育成することを目的としている	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	効率的に事務を執行している	

振り返り（決算年度の取組み課題）

市報や市ホームページによる広報、高校への周知を行った。

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
<p>制度のPRに努め、奨学金を必要としている生徒の利用を促す。</p>		<p>奨学金支給事業は、学習意欲がありながら経済的な理由等で就学が困難な学生を支援するため、継続する必要がある。</p>	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	

令和 6年度 行政評価事業別シート

	<input type="checkbox"/>	実計対象	<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	小泉 敦
		全体計画						経費区分		-		内線	3613
事務事業名	4295 教育相談事業												
所 属	300100 教育委員会事務局・学校教育課												
施 策	03021000 特色ある教育の推進												
予算 科目	会計	01 一般会計											
	科目	100103 教育費・教育総務費・教育奨励費											
	事業	060000 教育相談事業											
事業目的						事業概要・効果							
教育相談員、スクールカウンセラー、心の教室相談員を配置し、児童・生徒の悩みについての問題解消に努める。						小学校に入学後、個別配慮・支援、継続観察が必要と思われる児童については、5歳児すこやか相談事業から小学校へ引き継ぐとともに教育相談員の巡回を実施。幼・保・小が連携し、一人ひとりの児童に寄り添い継続支援を実施する。 スクールカウンセラーや心の教室相談等を配置し、児童・生徒の心の安定を図る。							

PLAN-DO

年度実績及び予定

令和 2年度 実績	令和 3年度 実績
教育相談員の小学校巡回、スクールカウンセラー及び心の教室相談員による相談等を実施し、児童・生徒の心の安定を図ることができた。	教育相談員の小学校巡回、スクールカウンセラー及び心の教室相談員による相談等を実施し、児童・生徒の心の安定を図ることができた。
令和 4年度 実績	令和 5年度 実績
教育相談員の小学校巡回、スクールカウンセラー及び心の教室相談員による相談等を実施し、児童・生徒の心の安定を図ることができた。	教育相談員の小学校巡回、スクールカウンセラー及び心の教室相談員による相談等を実施し、児童・生徒の心の安定を図ることができた。
令和 6年度 予定	令和 7年度 予定
教育相談員、スクールカウンセラー、心の教室相談員を配置し、児童・生徒の悩みについて、問題解消に努める。	教育相談員、スクールカウンセラー、心の教室相談員を配置し、児童・生徒の悩みについて、問題解消に努める。

指標名	無し					
算式						単位
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		令和5年度 決 算	令和6年度 予 算
事業費		6,537	7,358
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	13	17
	地方債	0	0
	その他	10	5
一般財源		6,514	7,336
人員数(人)	正規職員	0.1	0.1
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	0.1	0.1
人員コスト	正規職員	703.7	703.7
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	176.9	176.9
	計	880.6	880.6
市民一人当たりの経費		0.1	0.2
総額		7,417.6	8,238.6

(単位：千円)

令和5年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	3,710	スクールカウンセラー謝礼3,671、学校問題解決支援チーム会議委員謝礼39
10節 需用費	227	発達検査用紙の購入227
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	2,600	報酬1,695、職員手当等345、共済費369、旅費160、通信運搬費31

(単位：千円)

令和 6年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	4,046	スクールカウンセラー謝礼3,695、学校問題解決支援チーム会議委員謝礼351
10節 需用費	254	発送検査用紙の購入254
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	3,058	報酬1,753、職員手当等515、共済費407、旅費350、通信運搬費33

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	高い
評価コメント	教育相談員の巡回、スクールカウンセラー及び心の相談員による相談等実施	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	有効
評価コメント	児童生徒の心の安定が図れた	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	一人ひとりに寄り添った対応が必要	

振り返り（決算年度の取組み課題）

スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラーと学校が連携し、家庭への支援を含め必要な支援を行う

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーと連携し、家庭への支援も含めて必要な支援を行う		引き続きスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーと学校が連携し、家庭への支援も含めて困り感のある児童生徒に寄り添って必要な支援を行っていく。	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	

令和 6年度 行政評価事業別シート

	<input type="checkbox"/>	実計対象	<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	小泉 敦
		全体計画						経費区分		-		内線	3613
事務事業名	9770 就学援助事業												
所 属	300100 教育委員会事務局・学校教育課												
施 策	03021000 特色ある教育の推進												
予算 科目	会計	01 一般会計											
	科目	100103 教育費・教育総務費・教育奨励費											
	事業	070000 就学援助事業											
事業目的							事業概要・効果						
経済的に苦慮している保護者に就学援助を行い、教育の機会均等を図る。							要保護及び準要保護児童生徒の保護者に対し、就学援助費を支給することで、経済的負担の軽減を図る。 特別支援学級に在籍する児童生徒の保護者に対し、就学奨励費を支給することで、経済的負担の軽減を図る。						

PLAN-DO

年度実績及び予定

令和 2年度 実績	令和 3年度 実績
経済的に苦慮している児童生徒の保護者に就学援助費を、特別支援学級に在籍する児童生徒の保護者に就学奨励費を支給することで、保護者の経済的負担の軽減を図ることができた。	経済的に苦慮している児童生徒の保護者に就学援助費を、特別支援学級に在籍する児童生徒の保護者に就学奨励費を支給することで、保護者の経済的負担の軽減を図ることができた。
令和 4年度 実績	令和 5年度 実績
経済的に苦慮している児童生徒の保護者に就学援助費を、特別支援学級に在籍する児童生徒の保護者に就学奨励費を支給することで、保護者の経済的負担の軽減を図ることができた。	経済的に苦慮している児童生徒の保護者に就学援助費を、特別支援学級に在籍する児童生徒の保護者に就学奨励費を支給することで、保護者の経済的負担の軽減を図ることができた。
令和 6年度 予定	令和 7年度 予定
保護者からの申請に基づき適正な認定作業を行い、就学援助費及び就学奨励費を支給する。	保護者からの申請に基づき適正な認定作業を行い、就学援助費及び就学奨励費を支給する。

指標名	無し					
算式						単位
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		令和 5年度 決 算	令和 6年度 予 算
事業費		47,111	63,864
特定財源	国庫支出金	1,172	1,353
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	43,900	51,900
一般財源		2,039	10,611
人員数(人)	正規職員	0.1	0.1
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	0.6	0.9
人員コスト	正規職員	703.7	703.7
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	1,061.4	1,592.1
	計	1,765.1	2,295.8
市民一人当たりの経費		0.9	1.3
総額		48,876.1	66,159.8

(単位：千円)

令和 5年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	0	
12節 委託費	80	就学援助システム委託料80
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	384	峰の原高原児童生徒通学費負担金384
その他	46,647	システム使用料261、就学援助費・特別支援教育就学奨励費46,386

(単位：千円)

令和 6年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	0	
12節 委託費	80	就学援助システム委託料80
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	395	峰の原高原児童生徒通学費負担金395
その他	63,389	通信運搬費25、システム使用料264、就学援助費・特別支援教育就学奨励費63,100

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	必要不可欠
評価コメント	経済的に苦慮している児童生徒の保護者に就学援助費、特別支援学級に在籍する児童生徒の保護者に就学奨励費を支給	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	有効
評価コメント	保護者の経済的負担の軽減	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	制度を校正・公平に運用するため、慎重に事務を進める必要がある	

振り返り（決算年度の取組み課題）
適切な運用により制度を必要とする家庭を支援していく

ACTION

1次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

総合評価コメント

学校教育法に基づき、制度を必要とする家庭を支援していく。

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

2次評価コメント

適切な制度の運営により子育て家庭を支援していく。

外部評価

次年度以降の方向性	
-----------	--

外部評価コメント

--

令和 6年度 行政評価事業別シート

	実計対象	<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	竹内一也
	全体計画						経費区分		-		内線	3613
事務事業名	4261 小学校管理運営事業											
所 属	300100 教育委員会事務局・学校教育課											
施 策	03021000 特色ある教育の推進											
予算科目	会計	01 一般会計										
	科目	100201 教育費・小学校費・学校管理費										
	事業	010000 小学校管理運営事業										
事業目的						事業概要・効果						
小学校の維持管理や運営に要する経費で、教育環境の維持・整備を図る。						小学校の維持管理 学校運営の円滑な実施 教育環境の維持管理						

PLAN-DO

年度実績及び予定

令和 2年度 実績	令和 3年度 実績
小学校の維持管理、学校運営に要する経費の支出、教育環境の維持・整備	小学校の維持管理、学校運営に要する経費の支出、教育環境の維持・整備
令和 4年度 実績	令和 5年度 実績
小学校の維持管理、学校運営に要する経費の支出、教育環境の維持・整備	小学校の維持管理、学校運営に要する経費の支出、教育環境の維持・整備
令和 6年度 予定	令和 7年度 予定
小学校の維持管理、学校運営に要する経費の支出、教育環境の維持・整備	小学校の維持管理、学校運営に要する経費の支出、教育環境の維持・整備

指標名	無し					
算式						単位
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		令和 5年度 決 算	令和 6年度 予 算
事業費		222,674	231,688
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	16,709	13,537
一般財源		205,965	218,151
人員数(人)	正規職員	0.4	0.4
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	0.2	0.2
人員コスト	正規職員	2,814.8	2,814.8
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	353.8	353.8
	計	3,168.6	3,168.6
市民一人当たりの経費		4.3	4.5
総額		225,842.6	234,856.6

(単位：千円)

令和 5年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	4	謝礼4
10節 需用費	123,824	消耗品31,691、燃料費3,931、食料費58、印刷製本費379、光熱水費(電気・ガス・水道・下水道使用料)66,288、修繕料21,477
12節 委託費	3,473	電算委託料153、施設管理委託料1,502、保守点検委託料1,818
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	10,452	教科研究費負担金1,395、上田市委託児童負担金3,836、統合型公務支援システム負担金5,221
その他	84,921	報酬、職員手当、共済費、土地借上料、機器賃借料、備品購入費など84,921

(単位：千円)

令和 6年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	21	謝礼21
10節 需用費	121,008	消耗品費23,762、燃料費3,900、食料費100、印刷製本費441、光熱水費70,605、修繕料22,200
12節 委託費	3,588	教育システム委託料153、警備保障委託料1,563、エレベータ・冷暖房等保守点検委託料1,872
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	9,620	教科研究費負担金1,500、上田市委託児童負担金3,079、統合型公務支援システム負担金5,041
その他	97,451	報酬・職員手当、土地借上げ料、機器賃借料等97,451

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	必要不可欠
評価コメント	小学校における教育環境整備等は不可欠。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	大変有効
評価コメント	小学校における教育環境整備等、適正な管理運営を行っている。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	やや悪化
評価コメント	小学校における教育環境整備等、適正な管理運営を行って、経費の削減に努めているが、児童数の減少に対して、老朽化している施設の修繕やエアコンの導入に伴う光熱水費が増加しているなど、効率はやや悪化している。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

小学校における教育環境整備等、適正な管理運営を行うことができた。

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	簡易な改善（拡大）	次年度以降の方向性	簡易な改善（拡大）
総合評価コメント		2次評価コメント	
<p>小学校11校の管理運営に必要な事業であるが、校舎の老朽化に伴う修繕箇所と費用の増加が顕著になっている。将来的には児童数の推移に合わせた施設の再編が求められる。</p>		<p>適切に管理運営を行っている。施設の老朽化に伴い修繕等の必要が増大。将来的には児童数の推移に合わせた施設の再編が求められる。</p>	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	

令和 6年度 行政評価事業別シート

	実計対象	<input checked="" type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	竹内一也
	全体計画						経費区分		実施計画事業費		内線	3613
事務事業名	4262 小学校施設整備事業											
所 属	300100 教育委員会事務局・学校教育課											
施 策	03021000 特色ある教育の推進											
予算科目	会計	01 一般会計										
	科目	100201 教育費・小学校費・学校管理費										
	事業	020000 小学校施設整備事業										
事業目的						事業概要・効果						
学校施設の長寿命化や環境整備を行い、児童の安全確保や教育環境の改善を図る。						児童が安全で快適に学校生活が送れるよう、学校施設の危険箇所や傷みの著しい箇所を優先的に改修する。						

PLAN-DO

年度実績及び予定

令和 2年度 実績	令和 3年度 実績
日野小学校プールシート防水工事 市内7小学校防災機能強化工事 小学校放送設備更新	豊洲小学校プールろ過機更新工事設計 井上小学校学級数増加による空調設備設置工事 森上小学校大規模改造等工事（繰越）
令和 4年度 実績	令和 5年度 実績
旭ヶ丘小学校プールろ過機更新工事設計 豊洲小学校プールろ過機更新工事	須坂小学校・須坂支援学校大規模改修工事設計業務委託 森上小学校プールろ過機更新工事設計 旭ヶ丘小学校プールろ過機更新工事
令和 6年度 予定	令和 7年度 予定
仁礼小学校大規模改修工事手直し設計 須坂支援学校増築工事 森上小学校プールろ過機更新工事	須坂小学校長寿命化工事

指標名	無し					
算式						単位
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		令和 5年度 決 算	令和 6年度 予 算
事業費		32,833	27,118
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	29,900	25,000
一般財源		2,933	2,118
人員数(人)	正規職員	0.3	0.3
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	2,111.1	2,111.1
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	0.0	0.0
	計	2,111.1	2,111.1
市民一人当たりの経費		0.7	0.6
総額		34,944.1	29,229.1

(単位：千円)

令和 5年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	0	
12節 委託費	13,227	設計委託料13,227
14節 工事請負費	19,606	工事請負費19,606
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	0	

(単位：千円)

令和 6年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	0	
12節 委託費	8,000	設計監理委託料8,000
14節 工事請負費	19,118	工事請負費19,118
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	0	

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	必要不可欠
評価コメント	児童が安全で安心して快適に学校生活が送れるようにするため必要不可欠。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	大変有効
評価コメント	児童が安全で安心して快適に学校生活が送れるよう施設整備を行っている。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	施設の状況を把握し、経年劣化により危険な場所や損傷の著しい場所を優先して改修を行っている。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

施設の状況を把握する中で、児童が安全で安心して学校生活が送れるよう施設の整備を行った。

ACTION**1次評価****2次評価**

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
<p>施設の長寿命化計画に基づき改修工事を実施しているが、将来的には児童数の推移に合わせた施設の再編が求められる。</p>		<p>施設状況を把握する中で、児童が安全安心で快適なが学校生活を送れるよう整備を行う。 水泳授業の在り方とともに今後の学校プール施設の在り方について方針決定していく。</p>	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	

令和 6年度 行政評価事業別シート

	実計対象 <input type="checkbox"/>	評価対象 <input checked="" type="checkbox"/>	新規 <input type="checkbox"/>	完了事業 <input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業 <input type="checkbox"/>	担当者	竹内一也
	全体計画			経費区分	-	内線	3613
事務事業名	4263 小学校教育振興事業						
所 属	300100 教育委員会事務局・学校教育課						
施 策	03021000 特色ある教育の推進						
予算 科目	会計	01 一般会計					
	科目	100202 教育費・小学校費・教育振興費					
	事業	010000 小学校教育振興事業					
事業目的				事業概要・効果			
教育効果を高めるための教材消耗・教材備品・学校図書館の蔵書の整備を図る。				教育DX推進のため、主要教科のデジタル教科書及びデジタル教材を導入及び主体的、対話的で深い学びを行うための教材備品を整備する。			

PLAN-DO

年度実績及び予定

令和 2年度 実績	令和 3年度 実績
教育効果を高めるための教材消耗・教材備品・学校図書館の蔵書の整備	教育効果を高めるための教材消耗・教材備品・学校図書館の蔵書の整備
令和 4年度 実績	令和 5年度 実績
教育効果を高めるための教材消耗・教材備品・学校図書館の蔵書の整備	教育効果を高めるための教材消耗・教材備品・学校図書館の蔵書の整備
令和 6年度 予定	令和 7年度 予定
教育効果を高めるための教材消耗・教材備品・学校図書館の蔵書の整備	教育効果を高めるための教材消耗・教材備品・学校図書館の蔵書の整備

指標名	無し					
算式						単位
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		令和5年度 決 算	令和6年度 予 算
事業費		52,744	31,164
特定財源	国庫支出金	270	799
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	4,550	4,000
一般財源		47,924	26,365
人員数(人)	正規職員	0.2	0.2
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	0.1	0.1
人員コスト	正規職員	1,407.4	1,407.4
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	176.9	176.9
	計	1,584.3	1,584.3
市民一人当たりの経費		1.0	0.6
総額		54,328.3	32,748.3

(単位：千円)

令和5年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	260	謝礼260
10節 需用費	29,651	消耗品費29,651
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	22,833	手数料2,329、備品購入費535、教材備品購入費4,820、図書購入費4,454、使用料10,695

(単位：千円)

令和 6年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	427	謝礼427
10節 需用費	9,641	消耗品費9,641
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	21,096	手数料・備品購入費・教材備品購入費・図書購入費等21,096

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	必要不可欠
評価コメント	各種教材備品の整備を行い、教育効果を高めるため必要不可欠。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	大変有効
評価コメント	教育効果を高めるため、各種教材備品の整備を行っている。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	教育効果・効率性を高めるため、各種教材備品の整備を行っている。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

教育効果を高めるため、各種教材備品の整備を行った。
 図書館教育充実のため、蔵書の整備を行った。
 総合学力調査を実施し（小学1年生を除く）、基礎・基本学力の確認と今後の指導に活かした。

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
教育効果を高めるための各種教材備品の整備を行う		教育効果を高めるための各種教材備品の整備が必要	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	

令和 6年度 行政評価事業別シート

	実計対象 <input type="checkbox"/>	評価対象 <input checked="" type="checkbox"/>	新規 <input type="checkbox"/>	完了事業 <input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業 <input type="checkbox"/>	担当者	竹内一也
	全体計画			経費区分	-	内線	3613
事務事業名	4264 小学校情報教育事業						
所 属	300100 教育委員会事務局・学校教育課						
施 策	03021000 特色ある教育の推進						
予算 科目	会計	01 一般会計					
	科目	100202 教育費・小学校費・教育振興費					
	事業	020000 小学校情報教育事業					
事業目的				事業概要・効果			
パソコン教室等の整備により、基本的な情報機器の操作や調べもの学習での活用、情報化社会でのモラル教育等今後必要となる知識を学習できる。				小学校の教職員に貸与する校務用パソコンや教育用パソコンの貸借及び通信環境の整備修繕等。			

PLAN-DO

年度実績及び予定

令和 2年度 実績	令和 3年度 実績
学校の教職員に貸与する校務用パソコンや授業で使用するパソコン教室の教育用パソコンの貸借及び通信環境の整備修繕等	学校の教職員に貸与する校務用パソコンや授業で使用するパソコン教室の教育用パソコンの貸借及び通信環境の整備修繕等
令和 4年度 実績	令和 5年度 実績
学校の教職員に貸与する校務用パソコンや授業で使用するパソコン教室の教育用パソコンの貸借及び通信環境の整備修繕等	学校の教職員に貸与する校務用パソコンや授業で使用するパソコン教室の教育用パソコンの貸借及び通信環境の整備修繕等
令和 6年度 予定	令和 7年度 予定
学校の教職員に貸与する校務用パソコンや授業で使用するパソコン教室の教育用パソコンの貸借及び通信環境の整備修繕等	学校の教職員に貸与する校務用パソコンや授業で使用するパソコン教室の教育用パソコンの貸借及び通信環境の整備修繕、学習用一人一台端末の更新等

指標名	無し					
算式						単位
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		令和5年度 決 算	令和6年度 予 算
事業費		94,204	93,907
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	82,988	78,000
一般財源	11,216	15,907	
人員数(人)	正規職員	0.3	0.3
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	2,111.1	2,111.1
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	0.0	0.0
	計	2,111.1	2,111.1
市民一人当たりの経費	1.8	1.8	
総額	96,315.1	96,018.1	

(単位：千円)

令和5年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	1,129	消耗品費1,129
12節 委託費	16,221	事務機器等保守点検委託2,475、情報教育支援業務委託料13,746
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	76,854	機器賃借料71,488、受信料2,101、システム使用料2,947、授業目的公衆送信補償金318

(単位：千円)

令和 6年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	551	消耗品費551
12節 委託費	16,221	事務機器保守点検委託料2,475、情報教育支援業務委託料等13,746
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	3,120	負担金3,120
その他	74,015	機器賃借料67,568、その他6,447

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	必要不可欠
評価コメント	情報教育の振興のために必要不可欠。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	大変有効
評価コメント	教育用パソコンや校務用パソコンの適正維持・整備を図り、情報教育をより一層推進している。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	教育用パソコンや校務用パソコンの適正維持・整備を図り、校務や授業等において有効活用している。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

クラウドを介した授業時のデータの一斉送受信に際し、通信回線の狭帯域において通信速度の大幅な低下が見られたため、改善を要する。

ACTION

1次評価

次年度以降の方向性	簡易な改善（拡大）
総合評価コメント	
<p>情報通信環境を活かした学習を充実し情報教育の推進を図る。学習用一人一台端末について端末更新に向けた準備を行う。</p>	

2次評価

次年度以降の方向性	簡易な改善（拡大）
2次評価コメント	
<p>情報通信環境を活かした学習を充実し情報教育の推進を図っている。学習用一人一台端末の適切な更新に向けた準備が必要</p>	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	
<p></p>	

指標名	無し					
算式						単位
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		令和 5年度 決 算	令和 6年度 予 算
事業費		11,612	11,711
特定財源	国庫支出金	649	660
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	0	0
一般財源		10,963	11,051
人員数(人)	正規職員	0.0	0.0
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	0.2	0.2
人員コスト	正規職員	0.0	0.0
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	353.8	353.8
	計	353.8	353.8
市民一人当たりの経費		0.2	0.2
総額		11,965.8	12,064.8

(単位：千円)

令和 5年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	0	
12節 委託費	11,612	英語指導助手委託料10,313、オンライン国際交流サポート業務委託料1,299
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	0	

(単位：千円)

令和 6年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	0	
12節 委託費	11,711	英語指導助手委託料10,314、オンライン国際交流サポート業務委託料1,397
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	0	

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	高い
評価コメント	児童が直接外国人に接し、言語や文化について体験的に理解を深めるために必要不可欠な事業	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	大変有効
評価コメント	児童が直接外国人に接することで、外国語の音声や基本的な表現に親しみ、コミュニケーション能力が育まれている。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	受託先との長期継続契約や、プロポーザル実施により、経費の効率的な運用を図っている。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

児童が直接外国人に接することで、言語や文化の理解や、積極的なコミュニケーション態度を育めるよう事業を進めた。また、市内の小学校5年生の全クラスにおいて、海外在住者（英語をネイティブ言語とする者）とオンラインで交流し、英語を使ってコミュニケーションをとった。

ACTION

1次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント	
児童が直接外国の方と接することで、言語・文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度が養われている。	

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
2次評価コメント	
児童が直接外国の方と接することで、言語・文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度が養われている。また、外国語の音声や基本的な表現に親しむことで英語力の向上にも繋がる取り組みとなっている。	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	

令和 6年度 行政評価事業別シート

	実計対象	<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	竹内一也
	全体計画						経費区分		-		内線	3613
事務事業名	4267 中学校管理運営事業											
所 属	300100 教育委員会事務局・学校教育課											
施 策	03021000 特色ある教育の推進											
予算科目	会計	01 一般会計										
	科目	100301 教育費・中学校費・学校管理費										
	事業	010000 中学校管理運営事業										
事業目的						事業概要・効果						
中学校の維持管理運営に要する経費で、教育環境の維持・整備を図る。						中学校の維持管理運営に要する経費で、教育環境の維持・整備を図る。						

PLAN-DO

年度実績及び予定

令和 2年度 実績	令和 3年度 実績
中学校の維持管理、学校運営に要する経費の支出、教育環境の維持整備	中学校の維持管理、学校運営に要する経費の支出、教育環境の維持整備
令和 4年度 実績	令和 5年度 実績
中学校の維持管理、学校運営に要する経費の支出、教育環境の維持整備	中学校の維持管理、学校運営に要する経費の支出、教育環境の維持整備
令和 6年度 予定	令和 7年度 予定
中学校の維持管理、学校運営に要する経費の支出、教育環境の維持整備	中学校の維持管理、学校運営に要する経費の支出、教育環境の維持整備

指標名	無し					
算式						単位
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		令和 5年度 決 算	令和 6年度 予 算
事業費		148,452	171,815
特定財源	国庫支出金	1,000	1,344
	都道府県支出金	2,000	1,344
	地方債	0	0
	その他	5,269	5,272
一般財源		140,183	163,855
人員数(人)	正規職員	0.5	0.5
	会計年度(フル)	0.8	0.8
	会計年度(パート)	0.2	0.2
人員コスト	正規職員	3,518.5	3,518.5
	会計年度(フル)	2,864.8	2,864.8
	会計年度(パート)	353.8	353.8
	計	6,737.1	6,737.1
市民一人当たりの経費		3.0	3.4
総額		155,189.1	178,552.1

(単位：千円)

令和 5年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	957	謝礼530、卒業生徒記念品外427
10節 需用費	67,124	消耗品10,687、燃料費2,694、食料費17、印刷製本費360、光熱水費(電気、ガス、水道、下水道使用料)39,998、修繕料13,368
12節 委託費	1,782	電算委託料56、施設管理委託料528、保守点検委託料等1,198
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	4,899	教科研究費負担金973、上田市委託生徒負担金2,028、統合型公務支援システム負担金1,898
その他	73,690	報酬、職員手当、共済費、土地借上料、機器賃借料、備品購入費など73,690

(単位：千円)

令和 6年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	1,303	謝礼894、記念品外409
10節 需用費	73,705	消耗品費11,076、燃料費2,710、食料費30、印刷製本費320、光熱水費41,119、修繕料18,450
12節 委託費	1,850	教育システム委託料56、警備保障委託料569、施設管理委託料・保守点検委託料等1,225
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	5,895	教科研究費負担金ほか1,173、上田市委託生徒負担金2,718、統合型公務支援システム負担金2,004
その他	89,062	報酬、職員手当、共済費、土地借上料、機器賃借料、備品購入費など89,062

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	必要不可欠
評価コメント	教育環境整備等、学校の適正な管理運営を行うために必要不可欠。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	大変有効
評価コメント	教育環境整備等、適正な管理運営を行っている。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	やや悪化
評価コメント	教育環境整備等、適正な管理運営を行って、経費の削減に努めているが、生徒数の減少に対して、老朽化している施設の修繕やエアコンの導入に伴う光熱水費の増加など、効率はやや悪化している。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

中学校における教育環境整備等の適正な管理運営を行うことができた。

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	簡易な改善（拡大）	次年度以降の方向性	簡易な改善（拡大）
総合評価コメント		2次評価コメント	
<p>中学校4校の管理運営に必要な事業であるが、校舎の老朽化に伴う修繕箇所と費用の増加が顕著になっている。将来的には生徒数の推移に合わせた施設の再編が求められる。</p>		<p>適切に管理運営を行っている。施設の老朽化に伴う修繕等が増大。将来的には生徒数の推移に合わせた施設の再編が求められる。</p>	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	

令和 6年度 行政評価事業別シート

実計対象	<input checked="" type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	竹内一也
全体計画						経費区分		実施計画事業費		内線	3613
事務事業名	13516 中学校施設整備事業										
所 属	300100 教育委員会事務局・学校教育課										
施 策	03021000 特色ある教育の推進										
予算科目	会計	01 一般会計									
	科目	100301 教育費・中学校費・学校管理費									
	事業	020000 中学校施設整備事業									
事業目的						事業概要・効果					
学校施設の長寿命化や環境整備を行い、生徒の安全確保や教育環境の改善を図る。						生徒が安全で快適に学校生活を送れるよう、学校施設の危険箇所や傷みの著しい箇所を優先的に改修する。					

PLAN-DO

年度実績及び予定

令和 2年度 実績	令和 3年度 実績
中学校放送設備更新	東中学校プールろ過機更新工事設計
令和 4年度 実績	令和 5年度 実績
常盤中学校プールろ過機更新工事設計 東中学校プールろ過機更新工事	相森中学校プールろ過機更新工事設計 常盤中学校プールろ過機更新工事
令和 6年度 予定	令和 7年度 予定
相森中学校プールろ過機更新工事	常盤中学校長寿命化改修工事設計業務

指標名	無し					
算式						単位
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		令和5年度 決 算	令和6年度 予 算
事業費		26,774	26,664
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	22,200	24,000
一般財源		4,574	2,664
人員数(人)	正規職員	0.3	0.3
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	2,111.1	2,111.1
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	0.0	0.0
	計	2,111.1	2,111.1
市民一人当たりの経費		0.6	0.6
総額		28,885.1	28,775.1

(単位：千円)

令和5年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	0	
12節 委託費	979	設計委託料979
14節 工事請負費	25,795	工事請負費25,795
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	0	

(単位：千円)

令和 6年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	0	
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	26,664	工事請負費26,664
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	0	

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	必要不可欠
評価コメント	生徒が安全で安心して快適に学校生活が送れるようにするため必要不可欠。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	大変有効
評価コメント	生徒が安全で安心して快適に学校生活が送れるよう施設整備を行っている。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	施設の状況を把握し、経年劣化による危険な場所や損傷の著しい場所を優先して改修している。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

施設の状況を把握する中で、生徒が安全で安心して学校生活が送れるように施設の整備を行った。

ACTION**1次評価**

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

総合評価コメント

施設の長寿命化計画に基づき改修工事を実施しているが、将来的には生徒数の推移に合わせた施設の再編が求められる。

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

2次評価コメント

施設状況を把握する中で、生徒が安全安心で快適なが学校生活を送れるよう整備を行う。
水泳授業の在り方とともに今後の学校プール施設の在り方について方針決定していく。

外部評価

次年度以降の方向性	
-----------	--

外部評価コメント

--

令和 6年度 行政評価事業別シート

	実計対象 <input type="checkbox"/>	評価対象 <input checked="" type="checkbox"/>	新規 <input type="checkbox"/>	完了事業 <input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業 <input type="checkbox"/>	担当者	竹内一也
	全体計画			経費区分	-	内線	3613
事務事業名	4269 中学校教育振興事業						
所 属	300100 教育委員会事務局・学校教育課						
施 策	03021000 特色ある教育の推進						
予算 科目	会計	01 一般会計					
	科目	100302 教育費・中学校費・教育振興費					
	事業	010000 中学校教育振興事業					
事業目的				事業概要・効果			
教育効果を高めるための教材備品・学校図書館の蔵書の整備を図る。				教育DX推進のため、主要教科のデジタル教科書及びデジタル教材の導入及び主体的、対話的で深い学びを行うための教材備品を整備する。			

PLAN-DO

年度実績及び予定

令和 2年度 実績	令和 3年度 実績
教育効果を高めるための教材消耗・教材備品・学校図書館の蔵書の整備	教育効果を高めるための教材消耗・教材備品・学校図書館の蔵書の整備
令和 4年度 実績	令和 5年度 実績
教育効果を高めるための教材消耗・教材備品・学校図書館の蔵書の整備	教育効果を高めるための教材消耗・教材備品・学校図書館の蔵書の整備
令和 6年度 予定	令和 7年度 予定
教育効果を高めるための教材消耗・教材備品・学校図書館の蔵書の整備	教育効果を高めるための教材消耗・教材備品・学校図書館の蔵書の整備

指標名	無し					
算式						単位
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		令和5年度 決 算	令和6年度 予 算
事業費		18,245	38,790
特定財源	国庫支出金	687	1,681
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	2,500	2,800
一般財源		15,058	34,309
人員数(人)	正規職員	0.2	0.2
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	0.1	0.1
人員コスト	正規職員	1,407.4	1,407.4
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	176.9	176.9
	計	1,584.3	1,584.3
市民一人当たりの経費		0.4	0.8
総額		19,829.3	40,374.3

(単位：千円)

令和5年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	3,200	消耗品費3,200
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	15,045	手数料2,456、備品購入費5,555、使用料7,034

(単位：千円)

令和 6年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	21,500	消耗品費21,500
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	17,290	手数料2,840、備品購入費2,260、教材備品購入費2,150、図書購入費3,000、使用料7,040

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	必要不可欠
評価コメント	各種教材備品の整備を行い、教育効果を高めるため。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	大変有効
評価コメント	教育効果を高めるため、各種教材備品の整備を行っている。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	教育効果・効率性を高めるため、各種教材備品の整備を行っている。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

教育効果を高めるため、各種教材備品の整備を行った。
 図書館教育の充実のため、蔵書の整備を行った。
 総合学力調査を実施し、基礎・基本の学力定着の確認と今後の指導に活かした。

ACTION**1次評価****2次評価**

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
教育効果を高めるための各種教材備品の整備を行う		教育効果を高めるための各種教材備品の整備が必要	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	

令和 6年度 行政評価事業別シート

	実計対象 <input type="checkbox"/>	評価対象 <input checked="" type="checkbox"/>	新規 <input type="checkbox"/>	完了事業 <input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業 <input type="checkbox"/>	担当者	竹内一也
	全体計画			経費区分	-	内線	3613
事務事業名	4270 中学校情報教育事業						
所 属	300100 教育委員会事務局・学校教育課						
施 策	03021000 特色ある教育の推進						
予算 科目	会計	01 一般会計					
	科目	100302 教育費・中学校費・教育振興費					
	事業	020000 中学校情報教育事業					
事業目的				事業概要・効果			
中学校の教職員に貸与する校務用パソコンや授業で使用するパソコン教室の教育用パソコンの貸借を行う				中学校の教職員に貸与する校務用パソコンや教育用パソコンの貸借及び通信環境の整備修繕等。			

PLAN-DO

年度実績及び予定

令和 2年度 実績	令和 3年度 実績
学校の教職員に貸与する校務用パソコンや授業で使用するパソコン教室の教育用パソコンの貸借及び通信環境の整備修繕等	学校の教職員に貸与する校務用パソコンや授業で使用するパソコン教室の教育用パソコンの貸借及び通信環境の整備修繕等
令和 4年度 実績	令和 5年度 実績
学校の教職員に貸与する校務用パソコンや授業で使用するパソコン教室の教育用パソコンの貸借及び通信環境の整備修繕等	学校の教職員に貸与する校務用パソコンや授業で使用するパソコン教室の教育用パソコンの貸借及び通信環境の整備修繕等
令和 6年度 予定	令和 7年度 予定
学校の教職員に貸与する校務用パソコンや授業で使用するパソコン教室の教育用パソコンの貸借及び通信環境の整備修繕等	学校の教職員に貸与する校務用パソコンや授業で使用するパソコン教室の教育用パソコンの貸借及び通信環境の整備修繕、学習用一人一台端末の更新等

指標名	無し					
算式						単位
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		令和5年度 決 算	令和6年度 予 算
事業費		37,338	38,771
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	26,150	23,000
一般財源		11,188	15,771
人員数(人)	正規職員	0.3	0.3
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	2,111.1	2,111.1
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	0.0	0.0
	計	2,111.1	2,111.1
市民一人当たりの経費		0.8	0.8
総額		39,449.1	40,882.1

(単位：千円)

令和5年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	446	消耗品費446
12節 委託費	6,867	事務機器等保守点検委託料1,868、情報教育支援業務委託料4,999
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	30,025	機器賃借料、受信料、システム使用料など30,025

(単位：千円)

令和 6年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	5,702	消耗品費202、修繕料5,500
12節 委託費	6,867	事務機器保守点検委託料1,868、情報教育支援業務委託料4,999
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	2,210	負担金2,210
その他	23,992	機器賃借料22,986、その他1,006

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	必要不可欠
評価コメント	情報教育振興のために必要不可欠。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	大変有効
評価コメント	教育用パソコンや校務用パソコンの適正維持・整備を図り、情報教育をより一層推進している。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	教育用パソコンや校務用パソコンの適正維持・整備を図り、校務や授業等において有効活用している。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

クラウドを介した授業時に、通信回線の狭帯域において通信速度の低下が見られたため、改善を要する。

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	簡易な改善（拡大）	次年度以降の方向性	簡易な改善（拡大）
総合評価コメント		2次評価コメント	
情報通信環境を活かした学習を充実し情報教育の推進を図る。学習用一人一台端末について端末更新に向けた準備を行う。		情報通信環境を活かした学習を充実し情報教育の推進を図っている。学習用一人一台端末の適切な更新に向けた準備が必要。	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	

令和 6年度 行政評価事業別シート

	<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	山本雅代
		全体計画				経費区分		-		内線	3612
事務事業名	4272 中学校国際化教育推進事業										
所 属	300100 教育委員会事務局・学校教育課										
施 策	03021000 特色ある教育の推進										
予算 科目	会計	01 一般会計									
	科目	100302 教育費・中学校費・教育振興費									
	事業	030000 中学校国際化教育推進事業									
事業目的						事業概要・効果					
生徒の言語や文化の理解の深化、積極的なコミュニケーション態度の育成、聞く・話す・読む・書くの4技能の基礎能力を向上させ、コミュニケーション能力の基礎を養う。						市内中学校に国際化教育推進のため外国語指導助手（ALT）を派遣する。生徒が直接外国人に接することで、言語や文化の理解や積極的なコミュニケーション態度の育成等、基礎能力を高めていけるように役立てていく。 市内の中学校の希望者を対象に、海外在住者（英語をネイティブの言語とする者）と英語を使ったオンライン交流を行う。					

PLAN-DO

年度実績及び予定

令和 2年度 実績	令和 3年度 実績
市内中学校に国際化教育推進のため外国語指導助手（ALT）を派遣する。	市内中学校に国際化教育推進のため外国語指導助手（ALT）を派遣する。
令和 4年度 実績	令和 5年度 実績
市内中学校に国際化教育推進のため外国語指導助手（ALT）を派遣する。	市内中学校、支援学校中学部に国際化教育推進のため外国語指導助手（ALT）を派遣する。また、市内の中学校の希望者を対象に、海外在住者と英語を使ったオンライン交流を行う。
令和 6年度 予定	令和 7年度 予定
市内中学校、支援学校中学部に国際化教育推進のため外国語指導助手（ALT）を派遣する。また、市内の中学校の希望者を対象に、海外在住者と英語を使ったオンライン交流を行う。	市内中学校、支援学校中学部に国際化教育推進のため外国語指導助手（ALT）を派遣する。また、市内の中学校の希望者を対象に、海外在住者と英語を使ったオンライン交流を行う。

指標名	無し					
算式						単位
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		令和 5年度 決 算	令和 6年度 予 算
事業費		11,250	11,301
特定財源	国庫支出金	468	458
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	0	0
一般財源		10,782	10,843
人員数(人)	正規職員	0.0	0.0
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	0.2	0.2
人員コスト	正規職員	0.0	0.0
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	353.8	353.8
	計	353.8	353.8
市民一人当たりの経費		0.2	0.2
総額		11,603.8	11,654.8

(単位：千円)

令和 5年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	0	
12節 委託費	11,250	英語指導助手委託料10,313、オンライン国際交流サポート業務委託料937
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	0	

(単位：千円)

令和 6年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	0	
12節 委託費	11,301	英語指導助手委託料10,314、オンライン国際交流サポート業務委託料987
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	0	

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	高い
評価コメント	生徒の言語や文化の理解を深め、積極的なコミュニケーション態度の育成等に必要不可欠である。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	有効
評価コメント	生徒が直接外国人に接することで、言語や文化の理解や積極的なコミュニケーション能力の育成等、基礎能力が向上している。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	受託先との長期継続契約や、プロポーザル実施により、経費の効率的な運用を図っている。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

生徒が直接外国人に接することで、言語や文化の理解や、積極的なコミュニケーション態度の育成等、基礎能力を高めていけるよう事業を進めた。また、市内中学校の希望者を対象に、海外在住者（英語をネイティブの言語とする者）と英語を使ったオンライン交流を行い、英語学習の意欲や海外への興味を高める機会とした。

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
生徒が直接外国人に接することで、言語や文化の理解や、積極的なコミュニケーション態度の育成、4技能の基礎能力向上につなげる。		生徒が直接外国人に接することで、言語や文化の理解や、積極的なコミュニケーション態度の育成、4技能の基礎能力向上につなげる。	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	

令和 6年度 行政評価事業別シート

	<input type="checkbox"/>	実計対象	<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	竹内一也
		全体計画						経費区分		-		内線	3613
事務事業名	8237 特別支援学校管理運営事業												
所 属	300100 教育委員会事務局・学校教育課												
施 策	03021000 特色ある教育の推進												
予算 科目	会計	01 一般会計											
	科目	100401 教育費・特別支援学校費・特別支援学校費											
	事業	010000 特別支援学校管理運営事業											
事業目的						事業概要・効果							
特別支援学校の維持管理や運営に要する経費で、教育環境の維持整備を図る。						特別支援学校の維持整備 学校運営に要する経費の支出 教育環境の維持整備							

PLAN-DO

年度実績及び予定

令和 2年度 実績	令和 3年度 実績
特別支援学校の維持整備、学校運営に要する経費の支出、教育環境の維持整備	特別支援学校の維持整備、学校運営に要する経費の支出、教育環境の維持整備
令和 4年度 実績	令和 5年度 実績
特別支援学校の維持整備、学校運営に要する経費の支出、教育環境の維持整備	特別支援学校の維持整備、学校運営に要する経費の支出、教育環境の維持整備
令和 6年度 予定	令和 7年度 予定
特別支援学校の維持整備、学校運営に要する経費の支出、教育環境の維持整備	特別支援学校の維持整備、学校運営に要する経費の支出、教育環境の維持整備

指標名	無し					
算式						単位
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		令和 5年度 決 算	令和 6年度 予 算
事業費		12,221	14,077
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	1,733	1,973
一般財源		10,488	12,104
人員数(人)	正規職員	0.1	0.0
	会計年度(フル)	0.5	0.5
	会計年度(パート)	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	703.7	0.0
	会計年度(フル)	1,790.5	1,790.5
	会計年度(パート)	0.0	0.0
	計	2,494.2	1,790.5
市民一人当たりの経費		0.3	0.3
総額		14,715.2	15,867.5

(単位：千円)

令和 5年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	1,727	消耗品費1,389、燃料費42、食料費5、印刷製本費88、修繕料153、医薬材料費50
12節 委託費	1,490	警備保障委託料132、保守点検委託料105、情報教育支援業務委託料1,253
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	618	教科研究会負担金外143、統合型公務支援システム負担金475
その他	8,386	報酬・給料・職員手当・共済費4,669、備品購入費699、機器賃借料2,607、その他411

(単位：千円)

令和 6年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	2,229	消耗品費1,600、燃料費53、食料費5、印刷製本費121、修繕料400、医薬材料費50
12節 委託費	1,498	警備保障委託料143、事務機器保守点検委託料等1,355
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	498	教科研究会負担金ほか120、統合型公務支援システム負担金339、その他39
その他	9,852	報酬・給料・職員手当・共済費6,136、備品購入費695、機器賃借料2,588、その他433

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	必要不可欠
評価コメント	「地域の子どもは地域で育てる」の理念に基づき、学校の適切な管理を行い、特別支援教育の充実を図るため必要不可欠。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	大変有効
評価コメント	「地域の子どもは地域で育てる」の理念に基づき、学校の適切な管理を行い、特別支援教育の充実を図っている。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	学校の設備の状況等、教育的な要望を十分把握し、効率的な管理運営に努めている。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

「地域の子どもは地域で育てる」の理念実現に向け、支援学校の教育充実や環境整備等の管理運営を行った。

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
学校の適切な管理を行い、特別支援教育の充実を図った		学校の適切な管理を行い、特別支援教育の充実を図っている。	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	

令和 6年度 行政評価事業別シート

実計対象	<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input checked="" type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	竹内一也
全体計画						経費区分	-			内線	3613
事務事業名	18161 特別支援学校施設整備事業										
所 属	300100 教育委員会事務局・学校教育課										
施 策	03021000 特色ある教育の推進										
予算科目	会計	01 一般会計									
	科目	100401 教育費・特別支援学校費・特別支援学校費									
	事業	020000 特別支援学校施設整備事業									
事業目的						事業概要・効果					
学校施設の長寿命化や環境整備を行い、児童の安全確保や教育環境の改善を図る。						特別支援学校において多目的ホールを増築する。					

PLAN-DO
年度実績及び予定

令和 2年度 実績	令和 3年度 実績
令和 4年度 実績	令和 5年度 実績
令和 6年度 予定	令和 7年度 予定
須坂支援学校の多目的ホールを増築	

指標名	無し					
算式						単位
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		令和 5年度 決 算	令和 6年度 予 算
事業費		0	91,980
特定財源	国庫支出金	0	26,600
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	51,500
	その他	0	0
一般財源		0	13,880
人員数(人)	正規職員	0.0	0.1
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	0.0	703.7
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	0.0	0.0
	計	0.0	703.7
市民一人当たりの経費		0.0	1.8
総額		0.0	92,683.7

(単位：千円)

令和 5年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	0	
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	0	

(単位：千円)

令和 6年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	0	
12節 委託費	1,980	監理委託料1,980
14節 工事請負費	90,000	工事費90,000
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	0	

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	必要不可欠
評価コメント	児童・生徒が安全で安心して学校生活が送れるようにするために必要不可欠。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	大変有効
評価コメント	児童・生徒が安全で安心して学校生活が送れるよう施設整備を行っている。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	児童・生徒及び施設の状況を把握する中で、必要となる増築を行う。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

児童・生徒及び施設の状況を把握する中で、必要となる増築のための設計業務を行った。

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	抜本的見直し（拡大）	次年度以降の方向性	進め方の改善（拡大）
総合評価コメント		2次評価コメント	
須坂支援学校の設備として、新たに多目的ホールを整備し、障がいのある児童生徒の教育活動を充実する。		施設の増改築を行い、児童生徒の安全安心の向上と特別支援教育の充実を図っていく。	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	

令和 6年度 行政評価事業別シート

実計対象	<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	竹内一也
全体計画						経費区分	-			内線	3613
事務事業名	4273 健康管理事業										
所 属	300100 教育委員会事務局・学校教育課										
施 策	03021000 特色ある教育の推進										
予算科目	会計	01 一般会計									
	科目	100701 教育費・保健体育費・保健体育総務費									
	事業	020000 健康管理事業									
事業目的						事業概要・効果					
学校保健安全法に基づき、健康に疾患を有する児童・生徒及び学校職員を可及的早期に発見し、健康の保持促進を図るため、健康診断、その他学校保健に必要な予防対策を講じる。						学校は、大勢の児童生徒が学び、集団生活をする場として、安全で有意義な学校生活を送れる環境が必要である。さらに、児童・生徒・教職員の健康の保持増進は、学校教育における学習能率の基礎となり、学校教育の円滑な実施とその成果につながる。					

PLAN-DO

年度実績及び予定

令和 2年度 実績	令和 3年度 実績
健康診断、その他学校保健に必要な予防対策の実施	健康診断、その他学校保健に必要な予防対策の実施
令和 4年度 実績	令和 5年度 実績
健康診断、その他学校保健に必要な予防対策の実施	健康診断、その他学校保健に必要な予防対策の実施
令和 6年度 予定	令和 7年度 予定
健康診断、その他学校保健に必要な予防対策の実施	健康診断、その他学校保健に必要な予防対策の実施

指標名	無し					
算式						単位
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		令和5年度 決 算	令和6年度 予 算
事業費		23,244	24,596
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	32	64
一般財源		23,212	24,532
人員数(人)	正規職員	0.3	0.3
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	0.1	0.1
人員コスト	正規職員	2,111.1	2,111.1
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	176.9	176.9
	計	2,288.0	2,288.0
市民一人当たりの経費		0.5	0.5
総額		25,532.0	26,884.0

(単位：千円)

令和5年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	1,511	医師等謝礼1,511
10節 需用費	45	医薬材料費45
12節 委託費	6,649	検査委託料6,649
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	53	学校医会負担金20、ストレスチェック負担金33
その他	14,986	報酬14,518、機器賃借料429、ほか39

(単位：千円)

令和 6年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	1,643	医師等謝礼1,643
10節 需用費	150	食糧費・医薬材料費150
12節 委託費	8,000	検査委託料8,000
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	58	学校医会負担金・結核対策委員会負担金58
その他	14,745	機器賃借料、備品購入費ほか14,745

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか ・行政内部の管理運営上必要な事業であるか ・市が主体となり実施すべき事業か ・法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか ・目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	必要不可欠
評価コメント	児童・生徒、教職員の健康の保持増進は学校教育における学習能力の基礎となり、学校教育の円滑な実施とその成果に繋がるため必要不可欠。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の成果は上がっているか ・目標に対する達成度は十分か ・市民生活上の課題解決に貢献しているか ・行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか ・事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	大変有効
評価コメント	児童・生徒、教職員の疾病の早期発見及び健康管理の推進が図られた。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか ・効率性向上に努めているか ・使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	医師、検査機関、学校が連絡を取り合い、効率的に実施できるようにしている。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

生活習慣病検査において、指導が必要な児童・生徒には養護教諭が食事、運動、生活等の指導を行い、健康の増進に努めている。

ACTION**1次評価****2次評価**

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
<p>学校保健安全法に基づき、健康に疾患を有する児童・生徒及び学校職員を可及的早期に発見し、健康の保持促進を図るため、健康診断、その他学校保健に必要な予防対策を講じる。</p>		<p>児童生徒、教職員の健康増進に努める。</p>	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	

令和 6年度 行政評価事業別シート

	<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	竹内一也
		全体計画				経費区分		-		内線	3615
事務事業名	4274 学校保健事業										
所 属	300100 教育委員会事務局・学校教育課										
施 策	03021000 特色ある教育の推進										
予算 科目	会計	01 一般会計									
	科目	100701 教育費・保健体育費・保健体育総務費									
	事業	030000 学校保健事業									
事業目的						事業概要・効果					
学校内の環境衛生を整え、伝染病予防等を図る。 また、学校管理下における児童・生徒の災害（負傷・疾病等）時に必要な給付が受けられるようにする。						学校では児童・生徒等の災害を起こさないことが肝心であるため、学校の環境衛生を整えるなど安全管理部分を充実させ、学校が教育の場として、また多数の児童・生徒が集団生活をする場にふさわしく最も健康・安全に適した場所となるようにする					

PLAN-DO

年度実績及び予定

令和 2年度 実績	令和 3年度 実績
学校内の環境衛生整備、伝染病予防等の啓発等の実施 学校管理下における児童・生徒の災害（負傷・疾病等）時に必要な給付手続きの実施	学校内の環境衛生整備、伝染病予防等の啓発等の実施 学校管理下における児童・生徒の災害（負傷・疾病等）時に必要な給付手続きの実施
令和 4年度 実績	令和 5年度 実績
学校内の環境衛生整備、伝染病予防等の啓発等の実施 学校管理下における児童・生徒の災害（負傷・疾病等）時に必要な給付手続きの実施	学校内の環境衛生整備、伝染病予防等の啓発等の実施 学校管理下における児童・生徒の災害（負傷・疾病等）時に必要な給付手続きの実施
令和 6年度 予定	令和 7年度 予定
学校内の環境衛生整備、伝染病予防等の啓発等の実施 学校管理下における児童・生徒の災害（負傷・疾病等）時に必要な給付手続きの実施	学校内の環境衛生整備、伝染病予防等の啓発等の実施 学校管理下における児童・生徒の災害（負傷・疾病等）時に必要な給付手続きの実施

指標名	無し					
算式						単位
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		令和5年度 決 算	令和6年度 予 算
事業費		9,278	9,400
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	4	9
一般財源		9,274	9,391
人員数(人)	正規職員	0.3	0.3
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	0.1	0.1
人員コスト	正規職員	2,111.1	2,111.1
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	176.9	176.9
	計	2,288.0	2,288.0
市民一人当たりの経費		0.2	0.2
総額		11,566.0	11,688.0

(単位：千円)

令和5年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	4,155	消耗品費3,403、印刷製本費151、医薬材料費601
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	3,536	日本スポーツ振興センター共済掛金負担金3,479、県都市学校保健会負担金57
その他	1,587	手数料、備品購入費ほか1,587

(単位：千円)

令和 6年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	3,909	消耗品費3,000、印刷製本費169、医薬材料費740
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	3,562	日本スポーツ振興センター共済掛金負担金3503、県都市学校保健会負担金59
その他	1,929	手数料759、備品購入費1,170

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか ・行政内部の管理運営上必要な事業であるか ・市が主体となり実施すべき事業か ・法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか ・目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	必要不可欠
評価コメント	学校内の環境衛生を整え、伝染病予防等を図る。また、学校管理下における児童・生徒の災害時（負傷、疾病等）に必要な給付を受けられるようにするため必要不可欠。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の成果は上がっているか ・目標に対する達成度は十分か ・市民生活上の課題解決に貢献しているか ・行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか ・事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	大変有効
評価コメント	学校では、児童・生徒の災害（負傷・疾病等）を未然に防止することが肝心であるため、学校の環境衛生を整えるなど安全管理部分を充実させ、学校が教育の場として、また多数の児童・生徒が集団生活をする場にふさわしく最も健康・安全に適した場所となるようにする。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか ・効率性向上に努めているか ・使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	児童・生徒の保健衛生の保持及び災害共済の給付を適切に実施している。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

児童・生徒の保健衛生の保持及び災害共済の給付を適切に実施することができた。

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
児童・生徒の保健衛生の保持及び災害共済の給付を適切に実施していく。		児童生徒の保健衛生の保持及び災害共済の給付を適切に実施していく。	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	

令和 6年度 行政評価事業別シート

	<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	北澤 知子
		全体計画				経費区分		部局長裁量枠		内線	246-2104
事務事業名	4276 学校給食センター管理事業										
所 属	300100 教育委員会事務局・学校教育課										
施 策	03021000 特色ある教育の推進										
予算 科目	会計	01 一般会計									
	科目	100704 教育費・保健体育費・学校給食費									
	事業	020000 学校給食センター管理事業									
事業目的						事業概要・効果					
安全でおいしく、ていねいに真心のこもった学校給食を提供するとともに、学校給食をとおして児童生徒の食育推進を図る。						「須崎市学校給食センター食育活動」の目標に沿って学校と連携を図り、児童生徒への食育を計画的に進める。 また、地域食材の活用や行事食献立等を通して、地域や食文化などを知る機会とする。					

PLAN-DO

年度実績及び予定

令和 2年度 実績	令和 3年度 実績
「須崎市学校給食センター食育活動」の目標に沿って学校と連携をはかり、児童生徒への食育を計画的に進めた。地域食材の活用や行事献立等とおして、地域や食文化などを知る機会とした。「つながる食育推進事業」を実施した。	「須崎市学校給食センター食育活動」の目標に沿って学校と児童生徒への食育を計画的に進めた。地域食材の活用や行事献立等を実施し、地域や食文化などを知る機会を設けた。食物アレルギー対応食の提供を行った。
令和 4年度 実績	令和 5年度 実績
「須崎市学校給食センター食育活動」の目標に沿って学校と児童生徒への食育を計画的に進めた。地域食材の活用や行事献立等を通して、地域や食文化を知る機会を設けた。食物アレルギー対応食の提供を行った。	「須崎市学校給食センター食育活動」の目標に沿って学校と児童生徒への食育を計画的に進めた。地域食材の活用や行事献立等を通して、地域や食文化を知る機会を設けた。「つながる食育推進事業」のさらなる展開を図った。食物アレルギー対応食の提供を行った。
令和 6年度 予定	令和 7年度 予定
「須崎市学校給食センター食育活動」の目標に沿って学校と児童生徒への食育を計画的に進める。地域食材の活用や行事献立等を通して、地域や食文化を知る機会とする。「つながる食育推進事業」のさらなる展開を図る。食物アレルギー対応食の提供を行う。	

指標名	学校給食県産農産物利用状況調査				
算式	県内産食品数÷全食品数×100 (6月・11月率平均)				単位 %
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
目標値	目標	47.5	48	—	—
	実績	69.5	59.2	52.7	
指標選定の理由	学校給食における県内産農産物利用率(全県・食材数ベース) 長野県食育推進計画における達成目標値				
最終年度目標の根拠					
指標名	地産地消の推進				
算式	野菜・果物 市内産購入量(kg)÷全体購入量(kg)×100				単位 %
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
目標値	目標	12.3	12.3	12.3	12.3
	実績	9.8	6.1	5.7	
指標選定の理由	市内産農産物を学校給食で出来るだけ多く利用する				
最終年度目標の根拠	2019年度実績と同じ割合				
指標名					
算式					単位 %
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					

事業費

(単位：千円)

		令和5年度 決 算	令和6年度 予 算
事業費		537,194	580,401
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	318,191	481,750
一般財源		219,003	98,651
人員数(人)	正規職員	0.8	0.8
	会計年度(フル)	1.0	1.0
	会計年度(パート)	2.3	1.5
人員コスト	正規職員	5,629.6	5,629.6
	会計年度(フル)	3,581.0	3,581.0
	会計年度(パート)	4,068.7	2,653.5
	計	13,279.3	11,864.1
市民一人当たりの経費		10.5	11.3
総額		550,473.3	592,265.1

(単位：千円)

令和5年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	200	PFI相談謝礼200
10節 需用費	308,491	賄材料費254,846、燃料費42、光熱費52,109、修繕料30、その他1,464
12節 委託費	209,886	生ごみ処理486、衛生管理アドバイザー業務550、維持管理運営費208,850
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	1,305	県栄養士部会負担金16、学校給食費管理システム1,288
その他	17,312	機器賃借料等1,686、役務費2,646、備品購入費83、その他12,898

(単位：千円)

令和 6年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	205	PF1相談謝礼200、その他5
10節 需用費	344,073	賄材料費280,468、燃料費120、光熱費59,160、修繕料500、その他3,825
12節 委託費	216,616	生ごみ処理915、衛生管理アドバイザー業務660、維持管理運営業務215,041
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	1,335	県栄養士部会負担金16、学校給食費管理システム導入負担金1,289、食物アレルギー等会議出席負担金30
その他	18,172	機器賃借料等842、役員費3,717、備品購入費0、その他13,613

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	必要不可欠
評価コメント	学校給食法の規定により必要不可欠である。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	有効
評価コメント	食物アレルギー対応食の提供を行った。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	設備の運用を工夫し、省エネに努めた。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

新学校給食センター稼働3年目となり、引き続き省エネに努めながら日々の調理業務を滞りなく実施し、地元や県内産の食材を取り入れた給食を提供できた。

ACTION

1次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

総合評価コメント

学校給食法に基づき安全で安心な給食の提供と食育の推進を図る

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

2次評価コメント

安全安心な給食の提供と併せて児童生徒が主体的によりよい食習慣を形成しようとする態度を育てるための食育を推進する。

外部評価

次年度以降の方向性	
-----------	--

外部評価コメント

--

令和 6年度 行政評価事業別シート

	<input type="checkbox"/> 実計対象	<input type="checkbox"/> 評価対象	<input checked="" type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 完了事業	<input type="checkbox"/> ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/> 担当者	佐藤 陽
	全体計画			経費区分	-	内線	3624
事務事業名	4298 健全育成推進事業						
所 属	300200 教育委員会事務局・子ども課						
施 策	03021100 児童・青少年健全育成の推進						
予算 科目	会計	01 一般会計					
	科目	100606 教育費・社会教育費・児童青少年総合対策費					
	事業	010000 健全育成推進事業					
事業目的				事業概要・効果			
未来を担う児童・青少年が自主性や社会性、協調性を身につけ、個性豊かにたくましく成長するため、子ども会・育成会を中心とする地域活動を支援するとともに、子育てセミナーの開催や「家庭の日」普及実践活動を行い、家庭教育力の向上を図る。				家庭・地域の教育力を向上させるため保護者など大人を対象にした「子育てセミナー」を開催。 子どもたちの手による子ども会活動への支援。 各町の育成会活動への支援。 児童を対象としたドッチビー交流会の開催。 子ども会リーダー養成研修会を行い、次の地域子ども会のリーダー（子ども会の役員など）となる子どもたちを養成する。			

PLAN-DO

年度実績及び予定

令和 2年度 実績	令和 3年度 実績
子育てセミナー、子ども会長研修会の開催、「家庭の日」作文・ポスター作品募集、子ども会リーダー養成研修会の開催	子育てセミナー、子ども会長研修会の開催、「家庭の日」作文・ポスター作品募集、子ども会リーダー養成研修会の開催
令和 4年度 実績	令和 5年度 実績
子育てセミナー、子ども会長研修会の開催、「家庭の日」作文・ポスター作品募集、子ども会リーダー養成研修会、子どもスポーツフェスティバル（ドッチビー交流会）の開催	子育てセミナー、子ども会長研修会の開催、「家庭の日」作文・ポスター作品募集、子ども会リーダー養成研修会、子どもスポーツフェスティバル（ドッチビー交流会）の開催
令和 6年度 予定	令和 7年度 予定
子育てセミナー、子ども会長研修会の開催、「家庭の日」作文・ポスター作品募集、子ども会リーダー養成研修会、子どもスポーツフェスティバル（ドッチビー交流会）、自然体験事業の開催	子育てセミナー、子ども会長研修会の開催、「家庭の日」作文・ポスター作品募集、子ども会リーダー養成研修会、子どもスポーツフェスティバル（ドッチビー交流会）、自然体験事業の開催

指標名	子育てセミナーの開催件数						
算式	年間件数					単位	件
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
目標値	目標	52	52	52	52	52	
	実績	21	23	40			
指標選定の理由	地域の自主的な開催を支援し、地域で関わる気運の醸成を図る。						
最終年度目標の根拠	少子化により子育て世帯が減少する中で、ニーズに沿ったテーマ設定などをし、各町育成会や幼保認定こども園等多くの場で多くの方に聴講いただけるよう現状を維持する。						
指標名							
算式						単位	
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名							
算式						単位	
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							

事業費

(単位：千円)

		令和5年度 決算	令和6年度 予算
事業費		12,995	15,373
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	4,035	4,000
一般財源		8,960	11,373
人員数(人)	正規職員	0.9	0.0
	会計年度(フル)	0.8	0.0
	会計年度(パート)	0.1	0.0
人員コスト	正規職員	6,333.3	0.0
	会計年度(フル)	2,864.8	0.0
	会計年度(パート)	176.9	0.0
	計	9,375.0	0.0
市民一人当たりの経費		0.4	0.3
総額		22,370.0	15,373.0

(単位：千円)

令和5年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	294	子育てセミナー等講師謝礼185、「家庭の日」作文ポスター審査委員謝礼32、家庭の日作文ポスター応募記念品代等77
10節 需用費	420	消耗品費98、家庭の日作文ポスター入賞作品集等印刷費271、会議等茶代51
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	5,492	子ども会育成連絡協議会負担金549、児童青少年健全育成運動施設整備事業補助金0、育成会活動交付金4,943
その他	6,789	人件費6,595、旅費53、通信運搬費(郵便料)141

(単位：千円)

令和 6年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	572	子育てセミナー等講師謝礼330、「家庭の日」作文ポスター審査委員等謝礼161、家庭の日作文ポスター応募記念品代等81
10節 需用費	479	消耗品費90、会議等食糧費60、資料・チラシ・家庭の日入賞作品集等印刷費329
12節 委託費	385	自然体験業務運営委託料385
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	5,896	子ども会育成連絡協議会負担金563、運動施設補助金166、育成会活動交付金5,167
その他	8,041	人件費7,670、通信運搬費（郵便料）200、旅費100、委員報酬46、土地借上料25

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	必要不可欠
評価コメント	将来を担う児童青少年及びその保護者にとって必要な事業である。 子育て家庭支援を国全体として取り組んでいる。 子どもの居場所が問われているなか、それぞれの事業がひとつの居場所となっている。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	有効
評価コメント	子育てセミナーを通じ、地域住民や乳幼児の保護者が現在の子育てについて振り返るきっかけとなった。 子ども会リーダー養成研修会を開催し、各町子ども会のリーダー（子ども会の役員など）を養成することができた。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	概ね効率的に運用している。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

コロナ禍におけるイベント等自粛の反動から、子育てセミナーの開催回数、参加者が増加となった。育成会長等の地域役員の負担軽減を含め、あり方を見直す時期に差し掛かっている。

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
<p>子育て世帯に対する支援はより一層重要視され、子ども家庭庁を中心としたこども真ん中社会の創生には必要不可欠 各事業が、子どもの居場所のひとつでもある。</p>		<p>児童・生徒の健全育成は、家庭、学校、地域、関係機関が協力、連携することで支援につながり、青少年の豊かな心などの醸成や安心して暮らせるまちづくりに寄与している。</p>	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	

令和 6年度 行政評価事業別シート

	実計対象 <input type="checkbox"/> 評価対象 <input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 完了事業 <input type="checkbox"/> ゼロ予算事業 <input type="checkbox"/> 担当者	佐藤 陽
	全体計画 <input type="checkbox"/> 経費区分 <input type="checkbox"/> 内線	3624
事務事業名	4300 児童青少年育成センター事業	
所 属	300200 教育委員会事務局・子ども課	
施 策	03021100 児童・青少年健全育成の推進	
予算 科目	会計	01 一般会計
	科目	100606 教育費・社会教育費・児童青少年総合対策費
	事業	030000 児童青少年育成センター事業
事業目的		事業概要・効果
育成委員を中心とする街頭巡視補導活動を通して児童・青少年が非行に走らないよう予防活動に努める。また、環境浄化活動の一環として、有害図書等自動販売機、酒類・たばこの販売方法等有害な環境のチェック活動と商店等へ改善をお願いをする。		「地域の子どもたちは地域で守り育てる」地域から選出された児童青少年育成委員による街頭巡視補導活動で、子どもたちへ「愛の声かけ」を積極的に行い、登下校時等の子どもたちを見守るとともに、非行の未然防止に努める。 また、児童青少年育成委員会「善行賞」表彰を通じ、地域の子どもたちが取り組んでいる善い行い（活動）に対して大人がしっかりと褒めることで、子どもたちの活動意欲向上につなげる。

PLAN-DO

年度実績及び予定

令和 2年度 実績	令和 3年度 実績
育成委員による街頭巡視補導活動、各種研修会開催、善行賞の選定及び表彰	育成委員による街頭巡視補導活動、各種研修会開催、善行賞の選定及び表彰
令和 4年度 実績	令和 5年度 実績
育成委員による街頭巡視補導活動、各種研修会開催、善行賞の選定及び表彰	育成委員による街頭巡視補導活動、各種研修会開催、善行賞の選定及び表彰
令和 6年度 予定	令和 7年度 予定
育成委員による街頭巡視補導活動、各種研修会開催、善行賞の選定及び表彰	育成委員による街頭巡視補導活動、各種研修会開催、善行賞の選定及び表彰

指標名	児童青少年育成委員会善行賞の累計件数						
算式	表彰数					単位	件
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
目標値	目標	2	2	2	2	2	
	実績	1	1	5			
指標選定の理由	地域で頑張っている子どもたちに表彰を行い、自己肯定感の高揚に繋げる。						
最終年度目標の根拠	育成会や学校等にも広く周知し、より多くの子どもたちが表彰されるようにしたい。						
指標名							
算式						単位	
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名							
算式						単位	
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							

事業費

(単位：千円)

		令和5年度 決 算	令和6年度 予 算
事業費		1,312	1,725
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	0	0
一般財源		1,312	1,725
人員数(人)	正規職員	0.5	0.0
	会計年度(フル)	0.1	0.0
	会計年度(パート)	0.1	0.0
人員コスト	正規職員	3,518.5	0.0
	会計年度(フル)	358.1	0.0
	会計年度(パート)	176.9	0.0
	計	4,053.5	0.0
市民一人当たりの経費		0.1	0.0
総額		5,365.5	1,725.0

(単位：千円)

令和5年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	969	育成委員巡回活動謝礼964、記念品5
10節 需用費	116	消耗品費79、会議等茶代37
12節 委託費	50	健全育成啓発看板整備委託料50
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	105	上部組織への負担金・研修参加負担金37、活動団体補助金68
その他	72	旅費6、育成委員保険料66

(単位：千円)

令和 6年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	1,179	育成委員巡回活動謝礼1,171、研修会講師謝礼8
10節 需用費	150	消耗品費80、会議食糧費70
12節 委託費	50	健全育成啓発看板整備委託料50
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	215	上部組織への負担金及び研修会参加負担金106、活動団体補助金109
その他	131	旅費64、育成委員保険料67

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	普通
評価コメント	青少年非行の件数は減少傾向。定期的な巡回活動により、地域の防犯活動に寄与。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	普通
評価コメント	目に見えた効果につながる活動ではない。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	効率性を求めるべき事業ではない。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

地域及び市内の学校から推薦され委嘱する委員により構成されている。仕事を持ちながら活動する委員の割合が増加しており、今後の活動内容について見直しが必要と思われる。
善行賞については、表彰数が大幅に増加。

ACTION

1次評価

次年度以降の方向性	簡易な改善（縮小）
総合評価コメント	
類似の組織の状況を確認し、新たな委員の任期のなかで、あり方を検討する。	

2次評価

次年度以降の方向性	簡易な改善（縮小）
2次評価コメント	
市内で地域防犯活動を実施されている各種団体、組織の状況を確認し、児童青少年育成委員の活動等あり方を検討する。	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	

令和 6年度 行政評価事業別シート

	実計対象	<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input checked="" type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	佐藤 陽
	全体計画						経費区分		-		内線	3624
事務事業名	4301 農業小学校運営事業											
所 属	300200 教育委員会事務局・子ども課											
施 策	03021100 児童・青少年健全育成の推進											
予算科目	会計	01 一般会計										
	科目	100606 教育費・社会教育費・児童青少年総合対策費										
	事業	980000 農業小学校運営事業										
事業目的						事業概要・効果						
子どもたちが、農業の厳しさや楽しさを体験し、たくましい精神力・創造力などを身につけ、世代間交流を通し、仲間づくりや地域連帯感を養い、地域の文化に触れる。						農業体験を通じ、「農業」の厳しさ、楽しさ、食の有難さを知ることと併せ、異年齢の子ども達や大人達と触れ合うことによるコミュニケーション能力を身に付け、子どもたちの健全な成長の一助とする。						

PLAN-DO

年度実績及び予定

令和 2年度 実績	令和 3年度 実績
年間12回授業を計画したが、コロナ禍の影響により9回授業を実施した。17名の児童と保護者が参加	年間11回授業を実施し38名の児童と保護者が参加。
令和 4年度 実績	令和 5年度 実績
年間11回授業を実施し41名の児童と保護者が参加。	年間12回授業を計画。コミュニケーションの活性化、授業の充実を図るため適正な人数を募集
令和 6年度 予定	令和 7年度 予定
農業を含めた自然体験活動へ移行	農業を含めた自然体験活動へ移行

指標名	無し					
算式						単位
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		令和 5年度 決 算	令和 6年度 予 算
事業費		794	0
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	474	0
一般財源		320	0
人員数(人)	正規職員	0.3	0.0
	会計年度(フル)	0.1	0.0
	会計年度(パート)	0.8	0.0
人員コスト	正規職員	2,111.1	0.0
	会計年度(フル)	358.1	0.0
	会計年度(パート)	1,415.2	0.0
	計	3,884.4	0.0
市民一人当たりの経費		0.1	0.0
総額		4,678.4	0.0

(単位：千円)

令和 5年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	94	消耗品費94
12節 委託費	500	農地管理運営委託料500
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	200	旅費168、役務費(郵便料)7、土地借上料25

(単位：千円)

令和 6年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	0	
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	0	

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか ・行政内部の管理運営上必要な事業であるか ・市が主体となり実施すべき事業か ・法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか ・目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	高い
評価コメント	子ども居場所のひとつであり、親子のコミュニケーションの場でもある。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の成果は上がっているか ・目標に対する達成度は十分か ・市民生活上の課題解決に貢献しているか ・行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか ・事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	有効
評価コメント	異年齢の児童、農家先生、手伝いにくる高校生ほか、多様な人との関わりが持てた。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか ・効率性向上に努めているか ・使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	概ね効率的に運用している。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

農業体験を通じ、食べ物大切さや伝統食について学ぶことができた。参加した児童と地域の高齢者を中心とした大人たちと触れ合い、異年齢の子ども同士の交流、ふるさと須坂の再発見につながった。

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	統合・終了	次年度以降の方向性	統合・終了
総合評価コメント		2次評価コメント	
19年間に渡り事業を行ったが、一定の成果と新たな事業展開をするため、2023年度で終了とする。		地域住民の多大な協力を得ながら実施していた事業。長年の実施により事業目的の達成について一定の成果がみられた。今後は、子どもが自然の中で主体的に取り組む事業を展開をするため、本事業は2023年度で終了とした。	

外部評価

次年度以降の方向性
外部評価コメント